

日本質量分析学会男女共同参画 第1回 ワークショップ アンケート集計結果

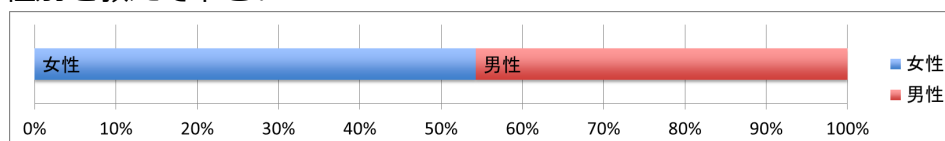
日本質量分析学会男女共同参画 第1回ワークショップにおいてアンケートを実施した。今回、アンケートを作成するにあたり、次の2つ点を考慮して質問項目を設定した。

- ① 参加者の背景情報を把握することで、どのような環境で仕事をされているのか、男女共同参画に対してどのようなお考えをお持ちなのかという事を正確に読み取る。
- ② 毎年同じ項目を繰り返し質問することで、意識や環境の変化を経時的に把握する。

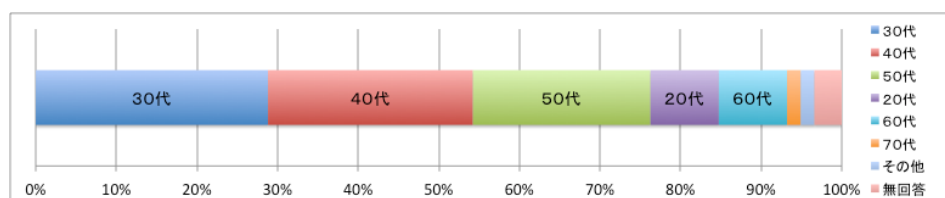
第1回の集計結果について報告する。 (回答数 n=59)

背景情報を把握するため、性別、年齢、職種ならびに所属機関、学会参加頻度の5項目を設定した。

Q1 性別を教えてください



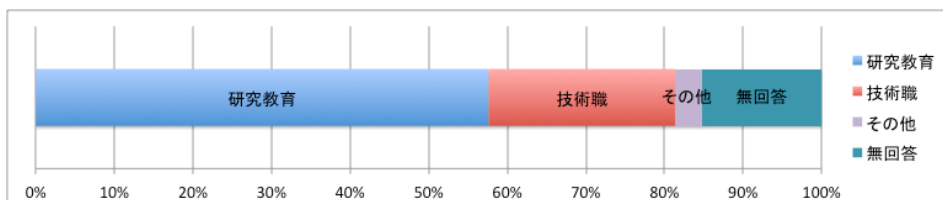
Q2 年齢を教えてください



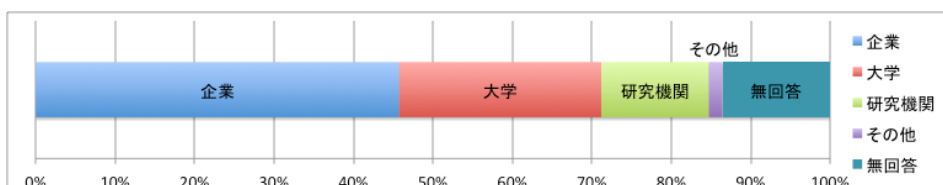
- ✓ 参加者の性別は男性と女性はほぼ同率の割合であり、年齢は30代、40代、50代がほぼ同程度であった。

Q3 職種と所属機関を教えてください

【職種】



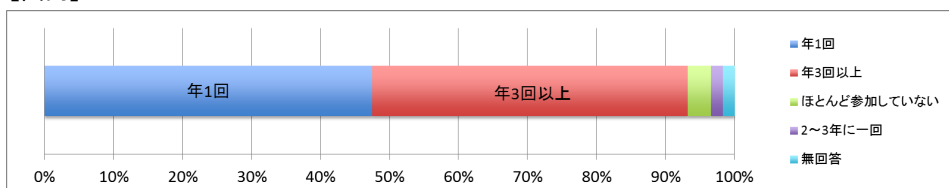
【所属機関】



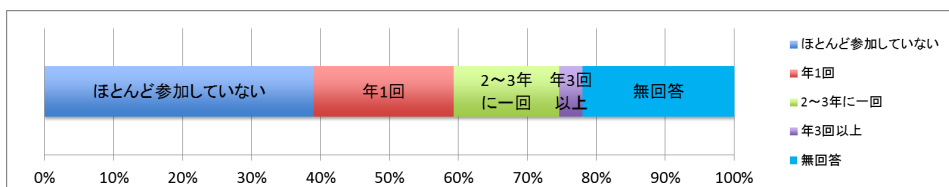
- ✓ 学会への参加者を対象にしているため、職種の80%以上が研究教育職・技術職であり、所属機関の80%以上が企業・大学・研究機関であった。

Q4 年間の学会参加数はどのくらいですか？

【国内】

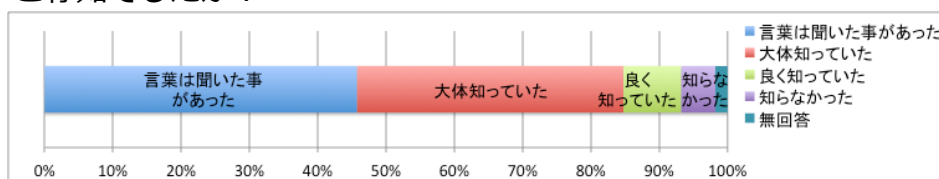


【国外】



- ✓ 国内学会は、95%以上の方が年1回以上参加しているが、海外学会への参加者は年1回以上が40%程度に留まっていた。

Q5 これまでに内閣府や学協会が取り組んでおります男女共同参画についてご存知でしたか？

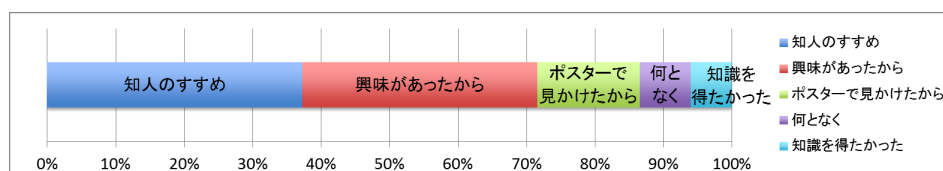


Q6 質量分析学会において、男女参画推進委員会が活動している事をご存知でしたか？

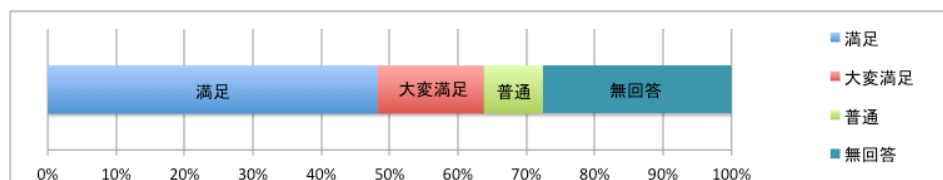


- ✓ 参加者の80%以上が“男女共同参画”という言葉を知っており、内閣府をはじめとする各組織や団体が様々な形で取り組んでいる成果の現われであると考えられた。
- ✓ 質量分析学会における男女共同参画推進委員会の活動に関しては、今回初めて知ったとの回答が半数であることから、委員会活動を個人の意識レベルまで浸透させるには、時間や機会を積極的に設ける必要があると考えられた。

Q7 このシンポジウムに参加された動機は何ですか？

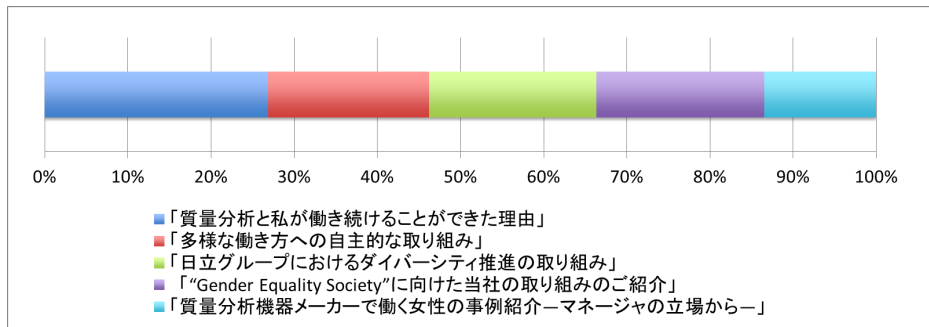


Q8 シンポジウムの内容はいかがでしたか？



- ✓ シンポジウムへ参加した動機は、“知人の勧め”、“興味があった”、“ポスターで見かけた”という理由が70%程度であり、フロア活動や宣伝の効果があったことを実感した。
- ✓ シンポジウムの内容については60%以上の方が満足・大変満足とされており、5演題とも同程度に興味を持たれていた。特に、パーソナルな体験談を取り入れた講演が高評であった。

Q9 興味深かった講演を教えてください



Q10 内容について感想をお聞かせ下さい

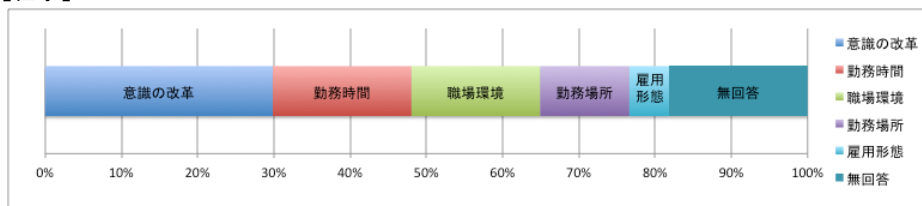
【自由記述より要約】

- ✓ 各業種あるいは企業における種々な制度を比較することで、他社の取り組みとの温度差を感じた。
- ✓ 成功した事例として、トップダウンで制度を導入することで、迅速に環境を整備するという事にとどまらず、導入後の円滑な活用がなされている。
- ✓ 演者は、制度を整備する立場、導入された制度を活用する立場の両方の視点からの講演であったが、いずれも民間企業の取り組みが中心であったため、大学や研究機関での事例についても聴きたい。
- ✓ 制度が整備されても活用できていない。活用されるためには、男性側の意識だけでなく、女性自身の意識改革も必要である。
- ✓ 女性の割合が増えることで、適切な制度が整備されたり、制度活用にあたっての問題点が議論され、より活用しやすいよう運営面でも改善される。

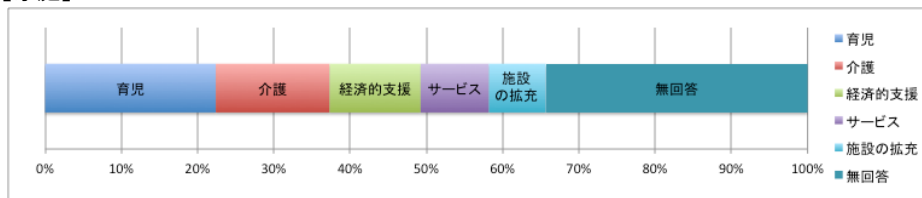
Q11 ご自身のワークライフバランスについて教えてください

理想的な働き方であるために改善したい課題はどこでしょうか？

【仕事】



【家庭】



- ✓ 理想的な働き方であるための課題として、意識の改革が最も多く、勤務時間、職場環境の順であった。育児とともに介護についても課題とされていた。

Q12 男女共同参画に関連したシンポジウムで希望する企画はありますか？

【自由記述より要約】

- これから社会に出て活躍する学生会員を対象としたもの
- 大学における取り組み
- 男性からの視点でみた女性管理職
- 女性の意識変化について

✓ 今回、取り上げなかった内容や客観的な意見を求める企画の希望があった。

開催時期、開催時間帯、講演内容について多くの方より貴重なご意見を頂きました。社会進出、育児、介護などの課題に対して、多様な働き方が実現できるように、今後のシンポジウムの企画ならびに男女共同参画推進委員会の活動に役立てていきたいと思ひます。

アンケートにご協力頂き、ありがとうございました。